

公益信託小野音響学研究助成基金 令和6年度 研究助成応募要項

「公益信託小野音響学研究助成基金」は、音響学分野の研究に携わっている若手研究者に対し研究費を助成することによって、我国の科学技術の発展に寄与することを目的として故小野義一郎氏他を委託者として設立された基金です。

令和6年度（第32回）の応募要項は次のとおりです。

I. 研究助成対象

1. 分野 音響学に関する研究
2. 対象者 大学・研究機関等に所属して、音響学の研究に携わっている若手研究者。

II. 助成の概要

1. 助成件数・金額 5件程度 1件 100万円以内
2. 助成金の使途 助成金の使途は別表に示すとおりです。
ただし、研究を有効に推進し、優れた成果をあげるために必要な経費であれば、厳格な使途の制限はありません。
3. 助成対象者の決定 助成対象者は運営委員会において厳正な審査の上、令和6年3月中に決定し通知します。
4. 助成金の交付 助成金は令和6年4月中に助成対象者へ贈呈します。
※委任経理とする場合、助成金による間接経費の支払いはできません。
5. 助成対象者の義務 令和7年1月末日までに研究の進捗状況および助成金の使途（見込みを含む）を報告いただきます。

III. 選 考

選考は次の運営委員で構成する運営委員会で行います。

委 員	荒井 隆行	(上智大学理工学部教授)
〃	小野 隆彦	(東京農工大学客員教授)
〃	小林 隆夫	(東京工業大学特任教授・名誉教授)
〃	中村 健太郎	(東京工業大学科学技術創成研究院教授)
〃	西村 秀和	(慶應義塾大学教授)
〃	松川 真美	(同志社大学理工学部教授)
〃	松原 健二	(株式会社ロングフェロー 代表取締役社長)

<五十音順>

IV. 応募手続き

1. 応募方法

当基金所定の申請書に必要事項を記入の上、学部長（所属する部局長）の推薦をうけて（申請書の推薦欄をご利用ください）、当基金事務局あてご送付ください。

申請書は三菱UFJ信託銀行HPに掲載されております。

URL : https://www.tr.mufg.jp/shisan/kouekishintaku_list.html

2. 応募締切日

令和6年1月11日（木）（必着）

3. 採否の結果

令和6年3月中に書面にてお知らせします。

なお、ご提出いただきました申請書、添付書類などは返却しませんので、あらかじめご承知おきください。

4. 問い合わせ先

<事務局>

〒164-0001東京都中野区中野3-36-16

三菱UFJ信託銀行 リテール受託業務部 公益信託課

Tel 0120-622372（フリーダイヤル）

（受付時間 平日9:00～17:00 土・日・祝日等を除く）

Fax 03-5328-0586

e-mail koueki_post@tr.mufg.jp

（件名には基金名を必ずご記入ください）

以上

研究助成金費目一覧

1. 謝金

(1)研究協力者謝金

共同研究者以外の協力者からの助言、協力に対する謝金

(2)研究補助者謝金

研究活動に必要な資料整理、測定、実態調査、集計作業等の研究補助作業に対する謝金

2. 消耗品費

研究のための一般事務用文具、分析・測定用の試薬・試料、試作のための部材、部品等消耗品費

3. 旅費

(1)国内旅費

研究のため片道100kmを越える出張（調査・会議出席等）に伴う交通費、宿泊費、雑費(通信費、運搬費等)

(2)海外旅費

研究のための出張(調査・会議出席等)に伴う交通費(渡航費、現地交通費等)、宿泊料、食事料、雑費(通信費、運搬費、保険料等)

4. 器具備品費

研究のための機械・器具の購入費、備品費

5. その他

(1)研究のための設備、器具、備品等の賃借料、コンピューターの賃借料、プログラムの賃借料

(2)会議費(茶菓子、弁当代を含む)

(3)研究のための図書、文献、マイクロフィルム、写真等の資料費

(4)研究のための調査票、調査マニュアル、集計表の印刷及び複写費、研究成果印刷費

(5)研究のための交通費(片道100km未満の日常的な移動のための経費)

(6)その他の諸経費

以上

公益信託小野音響学研究助成基金 直近（3年分）の採用研究テーマ

採用年度	No	研究テーマ
令和 3 年度	126	音響信号処理のための時間周波数解析に関する研究
	127	建築空間の意匠と音場を表現したVR空間における最適残響時間の設定
	128	基質振動を介した菌類-菌食者相互作用の解明
	129	行列分解理論及び深層学習に基づく複数楽器音間特徴量の解析
	130	強力超音波振動子用ホーンのトポロジー最適化に基づく設計法
	131	機械学習に基づく音響情報を用いた環境騒音の音源自動判定モデルの開発
	132	音声の聴き取り能力を予測するための聴覚時間情報処理の客観的評価法
	133	重畳高周波による生体高分子ナノ薬剤の超音波導入システムの開発
	134	光学式機械物性顕微鏡開発のための光音響加振方法の検討
令和 4 年度	135	摂食嚥下障害患者の経口摂取を支援するための嚥下音に基づく嚥下機能評価システムの開発
	136	強力超音波とマイクロバブルを用いた非切開ガン焼灼手術の治療効果予測法の数理物理的開発
	137	快適な音環境空間デザインのための波動音響解析に基づく室内音響データベースの構築
	138	ドローン聴覚による実時間被災者探査実現に向けた地表の三次元空間音響センシング
	139	事前学習不要なスモールデータDNNによる教師なし音声強調
	140	複合現実デバイスを用いた三次元音場リアルタイム可視化表現手法に関する研究
	141	音波の共鳴現象を利用した水の蒸発係数測定
令和 5 年度	142	コラーゲン線維の後方散乱解析における円筒系形状因子の適応妥当性の検証
	143	遠隔医療を想定した通話音声を紹介する音声言語障がい診断システムの開発
	144	集束超音波圧力場の非接触イメージングによる癌細胞破壊メカニズムの解明と制御
	145	双安定構造を利用したバリエブル音響ノッチフィルタ
	146	MEMSマイクロフォンアレイを用いた非接触心音計測に関する研究
	147	物理モデルに基づく室内インパルス応答推定を用いた音場制御に関する研究
	148	音は昆虫にとってもストレスになるのか？音と昆虫サイトカインとの関係を解明する
	149	蛇行河道における音響トモグラフィーシステムを用いた高精度河川流量モニタリングに関する研究
	150	看護（気管内吸引）支援のためのマイコンを用いた機械学習に基づく常時多点同時聴診による喀痰貯留位置推定